

株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当：期末配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日（中間配当を行う場合）

公告方法：電子公告 | 当社ホームページに掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由によって
電子公告をすることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人：三井住友信託銀行株式会社
ご照会先：三井住友信託銀行証券代行部
フリーダイヤル：0120-782-031

株式に関するご照会先について

- 住所変更、単元未満株式の買取等について
株主様の口座のある証券会社にお申し出下さい。
尚、特別口座の株主様は、三井住友信託銀行までお申し出下さい。
- 未払配当金の支払いについて
三井住友信託銀行までお申し出下さい。

株主総会決議及び議決権行使結果について

当社は、株主総会における決議内容及び議決権行使の結果について、
当社ホームページでお知らせしております。
URL：<http://www.santec.com/jp/ir/shareholders>

会社概要

(2018年3月31日現在)

社 名：santec株式会社（証券コード6777）
住 所：愛知県小牧市大草年上坂5823番地
資 本 金：4,978百万円
設 立：1979年8月25日
従 業 員：164名（2018年3月31日現在）
ホームページ：<http://www.santec.com/jp>



santec
Business Report

株主通信 2017年度

ごあいさつ

「Back to Basic」ベンチャー精神を忘れずに、
ユニークな光技術で、社会に貢献できる製品を追求し続けます。



2018年6月
代表取締役社長

鄭 台 鈞

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

当社は、第39期（2017年4月1日から2018年3月31日）において、「ニッチ市場開拓とベンチャー精神回帰」を基本方針に掲げ、事業活動を展開してまいりました。今後は、従来製品群のシェア拡大と共に新しい分野（産業、医療、計測）開拓にチャレンジしてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

トップインタビュー

Q 景気の先行きを読むのが難しい状況ですが、この1年はいかがでしたか。

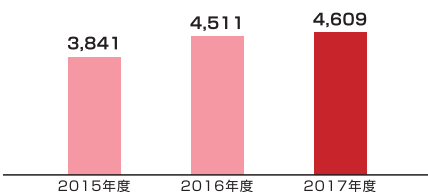
A 中国を含むアジア地域における旺盛な需要を背景に、波長可変光源の売上が好調に推移しました。一方で、光部品については、2017年度後半から調整の動きが見られました。その結果、売上高は前年度比2.2%の増収となりました。親会社株主に帰属する当期純利益については、利益率の高い製品が好調であったことから前年度比12.2%の増益となりました。今後も光通信市場においては、日本市場の横ばい傾向は続くと考えており、引き続き積極的に海外市場の開拓を行ってまいります。

Q 今後の光通信業界の需要をどう見えていますか。

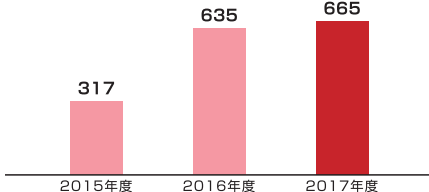
A 先進国では5Gに備えて買い控えの動きも見られたものの、新興国では新規投資が積極的に行われており、中長期的には、需要は増加傾向にあると考えております。通信機器分野においては、小型化、集積化などの進化を求められております。今後も市場の要求に応えられる新製品を投入することで、しっかり需要を取り込んでまいりたいと考えております。

連結決算ハイライト・配当性向

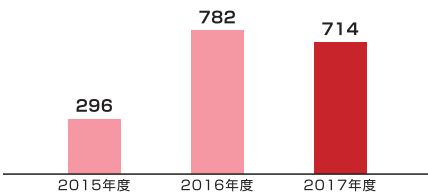
売上高



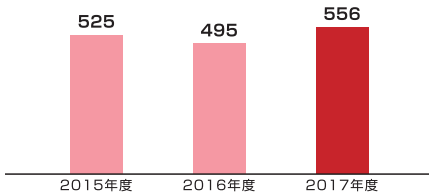
営業利益



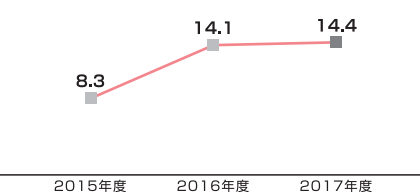
経常利益



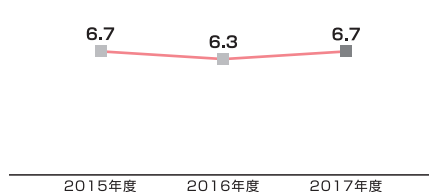
親会社株主に帰属する当期純利益



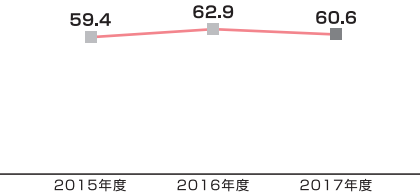
売上高営業利益率



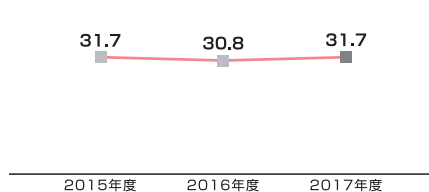
ROE



海外売上比率

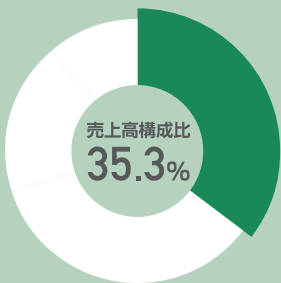


配当性向

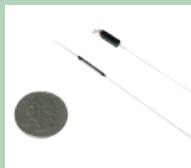


主要事業のご紹介

光部品関連事業



売上高
1,627 百万円
(前年度比▲8.5%)



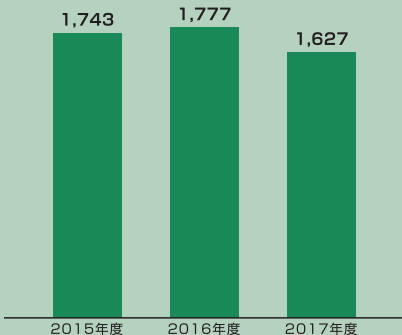
当社の小型部品が、
トランシーバに組み込まれ、
データセンタ間の
光通信に使われています。



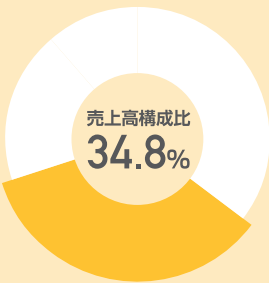
様々な分野での応用が期待される
SLM (空間光変調器)

セグメント売上高推移

(単位：百万円)



光測定器関連事業



売上高
1,603 百万円
(前年度比+38.8%)



光部品の製造現場で、
部品の検査に使われる当社製品



光通信産業を縁の下で支える光測定器

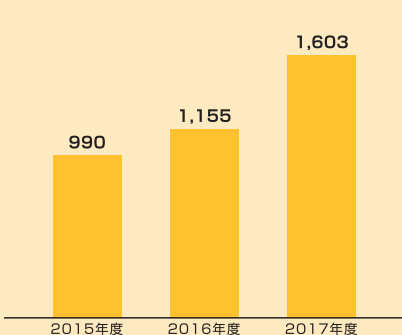
光通信部品の研究開発及び製造現場では、様々な波長や強度の光を利用して、実験や検査を行っています。

光測定器関連事業では、これらの実験、検査に利用される製品の開発・製造・販売を行っています。



セグメント売上高推移

(単位：百万円)



主要事業のご紹介

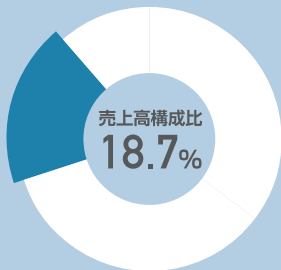
OCT関連事業

※光測定器関連事業に含まれます

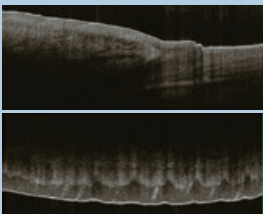
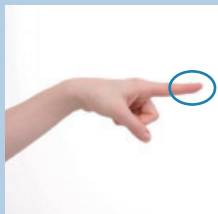
See more, evaluate better.

当社の光源技術をOCT（光干渉断層画像計）用の光源に応用した事業です。

光源が高性能であるほど、より速く、正確に断層画像を見ることができます。当社では、高性能なOCT用光源を開発することにより、お客様からの高い要求に応えてまいります。



売上高
861 百万円
(前年度比▲19.1%)



指のOCT画像

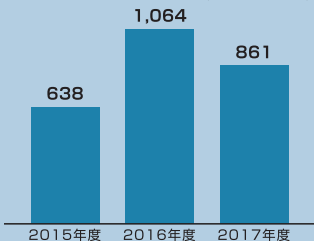
光の干渉効果を利用して、モノやヒトの断層画像を見ることができます。

<ARGOS®医療業界紙CRSTで受賞>
他社製品より計測が速く、正確であると評価されました。



セグメント売上高推移

(単位：百万円)



システム・ソリューション事業

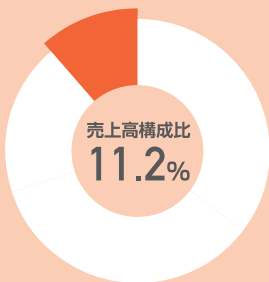
ネットワークツールで業務効率化をサポート

リモート商品を一新し、これからも働き方改革や業務効率化等にご貢献できる商材をお届けしてまいります。

ONLINE
ScreenAssist
リモートワークに対応

ONLINE
ScreenView
お客様を多方面からアシスト

LiveSupporter
スマートグラスを利用した現場サポート



売上高
516 百万円
(前年度比+0.6%)

セグメント売上高推移

(単位：百万円)



配当方針について

安定的な利益還元を目指して

配当金

(単位：円)

将来の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定的な配当水準を維持することを基本方針とし、連結配当性向30%を目標として掲げております。2017年度の期末配当金は15円であります。

配当金 特別配当

